

『 我達一文字とは 』



日本赤十字放射線技師会
常任理事 (IT 組織調査部) 石田 智広
所属：福井赤十字病院

平成 22 年度診療報酬改定の全容が見え隠れ始め、放射線科部と病院経営に及ぼす影響がとて気になるこの頃です。今回の巻頭言は新 IT・組織調査部から一語発信させていただきます。

2009 年、京都・清水寺管主 (かんす) による昨年一年の世相は漢字一文字で・・・「新」が揮毫されました。振り返れば新型インフルエンザ、民主党新政権発足、米オバマ新大統領就任、維新を掲げたプロ野球チームによる日本シリーズ制覇など選ばれるべき一文字は「新」しかないと私なりに予想を立てておりましたが、今回生まれて初めて管主と共感しました。

さて、世相文字で振り返る日本赤十字放射線技師会は昨年 4 月より益井会長体制 2 期目による新執行部を再スタートさせました。また、体制を見直すと共に、新チーム (執行部) の役割も新時代を見据えて対応可能なものとしたしました。組織調査部も IT を駆使した調査・情報発信に主力を置く意味合いから冒頭新名称になっております。私自身も 2 期目の組織調査部担当ですが、1 期目と 2 期目を比較した時、紙ベースの調査から日赤メーリングリストやホットクロスメーリングリストなどの IT 調査が主体となりました。今後は更に HP からの情報発信、収集分析をより簡便に加速させなければとの思いです。

現在、日本赤十字放射線技師の在籍施設数は 92。会員数は 1,300 名弱。同一母体組織の技師会としてはその会員数と施設数、しいてはスケールメリットではおそらく日本有数の一つとして上げられるのではと思いますが、活動内容に於いてはまだまだ発展途上であると実感しています。

全国日赤の技師長 (課長) 様に対してはアンケートなどの情報提供を年数回お願いしているところですが、直接お顔を見る事はできなくとも、こちらの技師長さんは実に先見的に物事を考えていらっしゃる…。一方、あちらの技師長さんは本会に情報を示す余裕もないほどお忙しそうだなあ…などと結構、人柄や施設状況が不思議と見えてくるものです。直接お電話で伺うとそれにも拘らず、大変丁寧に礼を尽くして頂き、逆に忙しいのに申し訳ない気持ちで一杯になります。

今時は年功序列で役職が昇進される時代ではないと言われますが、日赤ではどうなのかと調査の折、興味を持ったことがあります。結論から申し上げますと年功序列は撤廃され、

年齢、経験年数に関係なく人事が施行されているところが多く見受けられます。内外からは「日赤は保守的組織の代表者」と言われてきましたが、近年の人事は個人能力に応じて評価している模様です。ただし、それはうわべだけで決して内部状況を模倣しているかは定かでないですが。

一昨年からは日赤本社規定に則った勤務評定が全国赤十字施設で施行されています。若い技師が頑張った分、或いは中堅技師が実績を重ねた分評価される事になります。個人面談の際、彼達に言うのですが、「一生懸命仕事に打ち込み、業務実績を上げた分がそのまま評価され、給与が上がり、そして昇任に繋がる。何て君たちは幸せなんだろうね。だから頑張れ！」と。

ユビキタス日赤放射線技師会、ホームページが一新され、会員間の必要な情報のやり取りが簡便になりました。また、全会員が所属する学術6分科会も世話人抱負の通り軌道路線が定まり、打てば響く鐘も鳴り響いています。執行部の成すべき課題は山のようにありますが、会員諸兄にはぜひHPにMLに能動的に働き掛けをお願いしたいところです。

それは日赤勤務評定・業務遂行能力の①「知識・識見」②「企画立案・構想力」⑤「折衝・調整力」⑦「接遇・安全管理行動」の評価指標の根拠にも成り得るからです。その意味で今年一年の我達一文字は、「能」を当てがいたいものです。無論、執行部もそうあるのは云うまでもないですが。

最後になりますが、本年も会員の皆様のご健勝にお過ごしされますよう、心より祈念申し上げます。